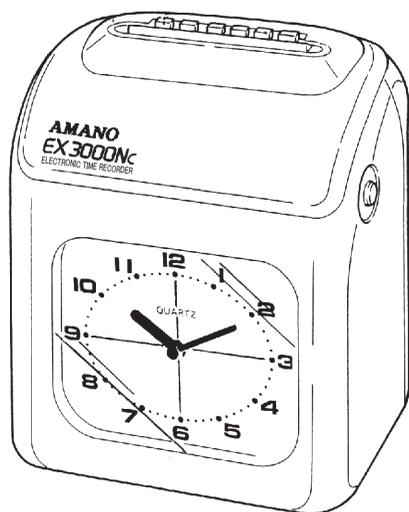


AMANO

電子タイムレコーダー

EX3000Nc

取扱説明書



タイムレコーダー サポート&サービス

取扱説明書、お問い合わせ、
チャットボットのご利用は
こちらからご確認ください。



<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

※ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

※この取扱説明書は必ず保管してください。

目次

重要安全情報	1
安全にお使いいただくために	2
本機の主な特長	5
タイムカードのメリット	5
各部の名称	6
外観	6
操作部	7
使用するカードについて	9
設置上の注意	10
設置場所のご注意	10
設置のしかた	10
壁に掛けて使用する場合	11
電源について	12
すぐにご使用になる場合	13
初期値一覧表	13
毎日の使いかた	14
出勤・退勤の選びかた	14
徹夜処理のしかた	14
タイムカードの入れかた	15
設定のしかた	16
上ぶたの開閉	16
縮日の変更が必要な場合	18
印字段切換時刻の変更が 必要な場合	19
アmano Dカードを使用する場合	20
15日縮めをDカードを使用して オモテ面から使用する場合	20
時計を合わせたい場合	22
印字フォーマットの変更	24
曜日の印字を変更したい場合	26
サマータイムの設定を したい場合	27
週間プログラムの設定を する前に	29
週間プログラムの設定	31
こんなときには	38
故障かなと思ったら	38
エラーコード一覧とメッセージ	39
印字が薄くなってきたら (リボンカセットの交換)	40
よくあるご質問 Q&A	42
付録	44
日常のお手入れ	44
製品仕様	45
消耗品・別売品	46
設定表	47
製品保証とアフターサービス	48

はじめに

このたびは、電子タイムレコーダー EX3000Nc をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。EX3000Nc を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書を必ずお読みください。

製品の保証登録のお願い

アマノではご購入いただきました対象製品について、保証登録をしていただくことで、サポートセンターへのお問い合わせや製品の保証期間内の無償保証、メンテナンスサービスを提供しております。

お手数ですが保証登録をお願いいたします。

詳しい内容は、以下 URL の製品保証登録サイトをご覧ください。

ご登録方法

■インターネットでの登録

下記の URL にアクセスし、入力フォームから登録してください。

(URL) https://www.amano.co.jp/Tr/register/index_regist.html



お預かりしましたお客様の個人情報は、今後弊社が取り扱う製品やサービスのご紹介、これらに関する展示会・セミナー等各種イベントのご案内に利用させていただきます、お客様の許可なく第三者に提供等いたしません。

製品保証、アフターサービスについてのお問い合わせ

タイムレコーダー・サポートセンターへのお問い合わせは、下記URL または QR コードの [お問い合わせ] ボタンよりお問い合わせいただけます。

【サポート&サービス】

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>



製品ご利用時の注意点

EX3000Nc は設置環境が悪いと正常に使えなくなることがあります。
屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。

取扱説明書ご利用時の注意点

製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。

付属品をお確かめください

- テストカード 1 枚
- 壁掛板 1 枚
- 取扱説明書（本書）1 部
- サポート&サービス案内シール 1 枚
- 徹夜ガイドシール 1 枚

重要安全情報

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みください。

	警告	誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。
--	-----------	--

《補足》 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

	注意	誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。
--	-----------	---

《補足》 傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

《電源に関する注意事項》	
■	電源はAC100V（50／60Hz）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
■	タイムレコーダーの電源は終夜電源にし、他の機器電源と独立させてください。
■	本機はリチウム電池を内蔵しています。停電になっても内部時計は歩進しています。ただし、停電時はタイムレコーダーの打刻はできません。

《上ぶたを開ける場合の注意事項》	
■	上ぶたを開けてリボンカセット交換等を行うときは、机などの大きな金属に触れるなど除電して（静電気を取り除いて）から作業してください。故障等の原因となることがあります。

◆絵表示の例◆



高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

警告



定格電圧外禁止

- ・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・ 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



改造禁止

- ・ 本機を改造しない。
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・ 本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は、分解したり触れたりしない。
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



定期清掃

- ・ 電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。
ほこりがたまり、火災の原因となります。

警 告



スプレー禁止

- ・ 可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・ 有機溶剤 (ベンジン、シンナー、除光液など) を使用しない。
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

⚠ 注意



設置場所

- ・ 本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ 本取扱説明書の中には、弊社または弊社指定代理店が行う作業の説明があります。その作業は絶対にお客様が行わない。
感電、けがの原因となることがあります。



禁止

- ・ ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・ 本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具使用

- ・ 本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。
落下してけがの原因となることがあります。



プラグを持って抜く

- ・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・ リボンカセットを交換するときは、上ぶたを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・ 本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。
電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



高温注意

- ・ 高温注意シールのところは触れない。
やけどの原因になることがあります。

本機の主な特長

- 開封して、コンセントを差し込めばすぐに使える機能 ----- これから事業を始める方、初めてタイムレコーダーを購入された方、今までのタイムレコーダーの買い換えの方でも安心して使えます。
- メモリー保持機能 ----- 不意の停電でも大丈夫です。管理者がいなくても時計合わせの必要がありません。アルバイトだけの出張所やお店でも安心です。
- 特定の曜日を赤印字 ----- 定休日の決まっていない業種で、1週間の区切りや、働き手が集まりにくい曜日に割り増しを付けるとき、便利です。もちろん休日出勤の手当や、逆に休日出勤の注意に使うことができます。
- 特定の時刻以降を赤印字 ----- サービス業のように定時は決まっていないが、ある時間以降の割り増しを付けたいときに、便利な機能です。（例：22:00以降は時給を上げたい→22:00以降の退勤は、赤印字。）また、製造業などで定時以降の退勤をチェックしたいときに便利です。遅刻早退のチェックのために、赤印字にすることもできます。
- 6欄印字機能 ----- 通常の出勤・退勤以外に外出や戻り、休憩の開始・終了、残業の開始・終了、二度目の出勤などにカードを打つことができます。勤務時間内のモラルの管理や、変則勤務などに便利です。

タイムカードのメリット

タイムカードは、シンプルで確実な勤務管理の方法です。

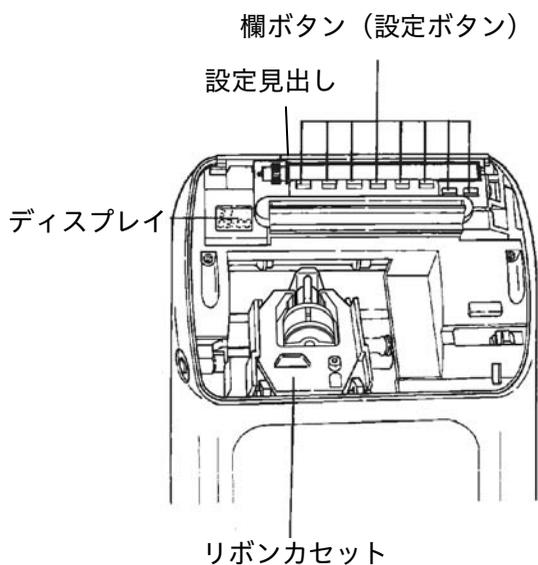
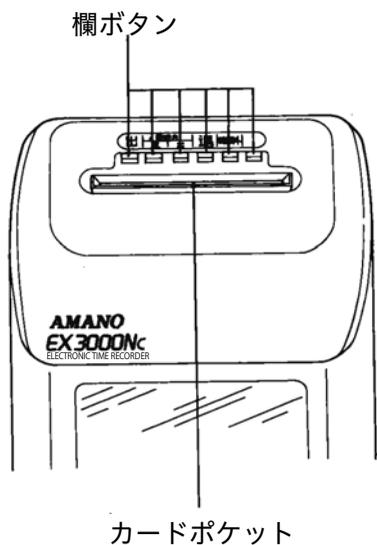
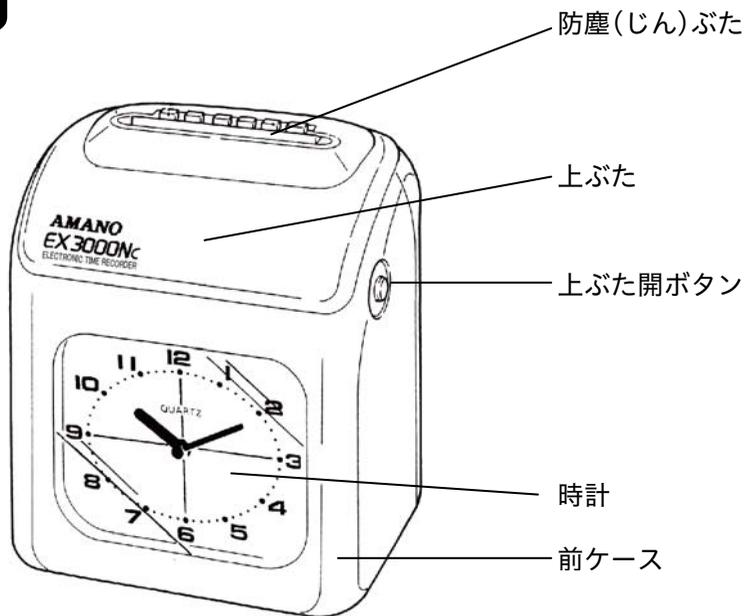


タイムカードの印字内容を確認すれば、職場の管理者がパソコン等を使わずにその場で勤務状況を把握できます。

タイムカードを入れる、カードラックを「出勤用」「退勤用」に分けることで出勤状況は一目瞭然です。

各部の名称

外観

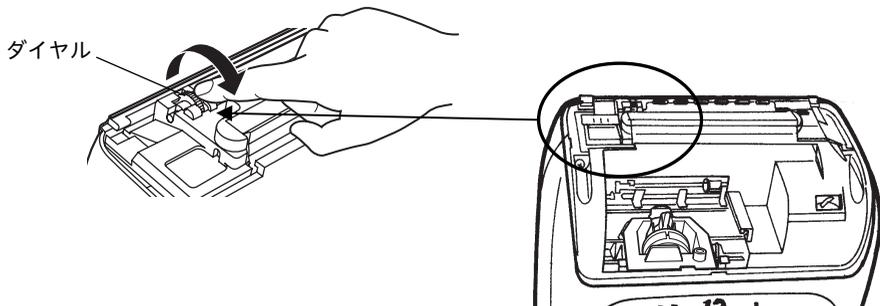


操作部

上ぶたを開けて、各項目の設定を行います。

左側にあるダイヤルを回して設定見出しを回転させることで、設定見出し①～③を出すことができます。設定見出しの手前にあるボタンを押して操作します。

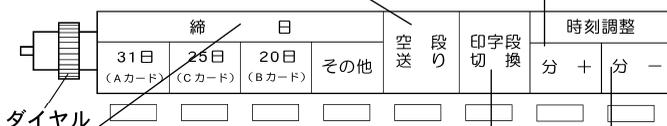
設定についての詳しい説明は、16 ページ以降を参照してください。



設定見出し①

このボタンを押すと、空段の位置が変わります。
押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、時計が1分進みます。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。アナログ時計も同時に動きます。



月末・25日・20日締めボタンがあります。
任意の締め日をセットしたい場合は、「その他」を押します。短く1回押すと表示が1日進みます。押し続けると早送りします。

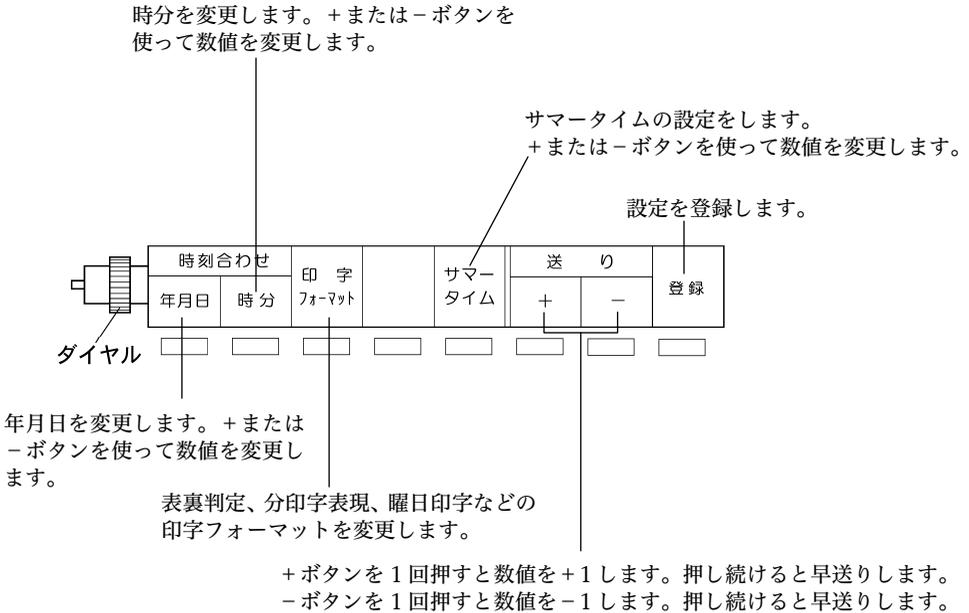
印字段切り換時刻



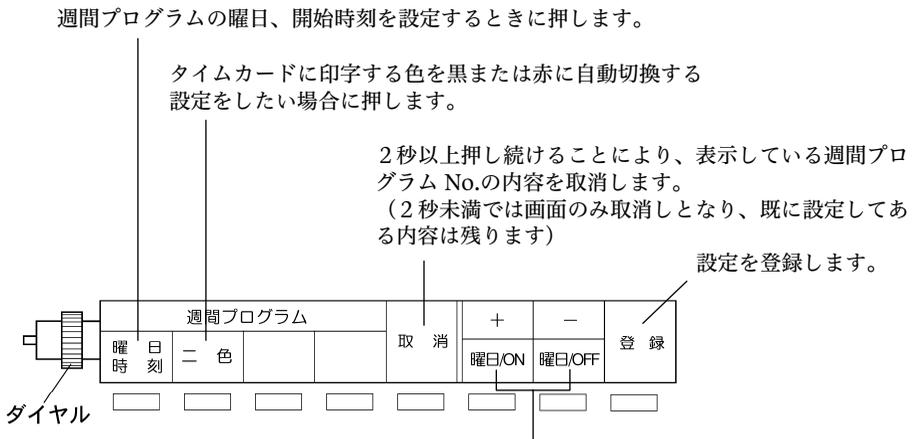
このボタンを押すと、タイムカードの印字段を切り換える時刻が変わります。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、時計が1分戻ります。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。

設定見出し②



設定見出し③



週間プログラムを設定する場合、ディスプレイ上の点滅している曜日に対して+/曜日 ON ボタンを押すと曜日が点灯し有効となり、-/曜日 OFF ボタンを押すと曜日が消灯し無効となります。またボタンを押し続けると数値が早送りします。

設置上の注意

設置場所のご注意

 **注意** 次のような場所での設置は故障の原因となりますので、設置しないでください。



禁止

直射日光、熱源のそばには設置しない。



水ぬれ禁止

雨水のかかる場所には設置しない。



禁止

強い振動、衝撃を機器に与えない。



禁止

腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。

設置のしかた

台に置いて使用する場合は、水平な台に置いてご使用ください。

 **注意**



禁止

ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



固定用具使用

本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる
壁材に適した固定用具を使用する。
落下してけがの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。
壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。

壁に掛けて使用する場合

⚠ 注意



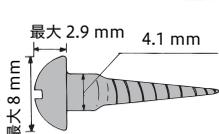
固定用具使用

- ・本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。
落下してけがの原因となることがあります。

呼び径 4.1 mm の木ねじ(丸頭)3本とドライバー、キリ等が必要です。

1 木ネジを壁に取り付けます(木ネジはおお客様でご用意ください)

94 cm～124 cm程度のところに木ネジを付けたと使いやすい高さになります。

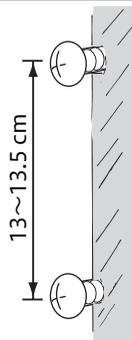


木ネジの頭を
3 mm 出します。

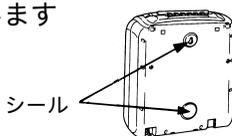
下穴をあけてからドライバーで締めこんでいきます。下穴は木ネジの太さの70%くらいの大きさの穴を目安にして「キリ」等を使用します。

2 2本目を取り付けます

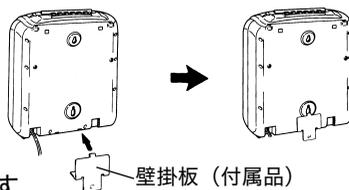
最初に付けた木ネジからまっすぐ下に 13 cm～13.5 cm のところにもう1本の木ネジを取り付けます。



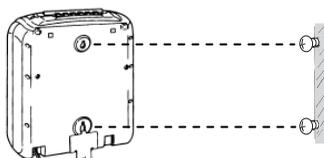
3 本体背面のシールをはがします



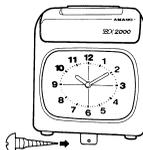
4 壁掛板をダルマ穴(2ヶ所あるうちの下の方)に引っ掛けます



5 ダルマ穴を壁の木ネジに引っ掛けます



6 壁掛板を木ネジで固定します



電源について

警告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。また、タコ足配線をしなない。
火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。
また、重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本機の上ぶた以外は外さない。
内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



改造禁止

- ・本機を改造しない。
火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

注意



プラグを持って抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

■電源、電圧は安定したところでご使用ください。



電源プラグ

■電源は終夜電源にして、他の機器と独立させてください。



電源コンセント
AC100V (50/60Hz)

■電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり火災の原因となります。

すぐにご使用になる場合

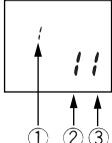
下記の設定内容でしたら、電源プラグをコンセントに差し込むだけで、設定なしでもご使用いただけます。

- 設定内容： 締日“月末”または“15日”で、午前 3:00 をまたぐ勤務の人がいない場合はそのままお使いいただくことができます。

■ 締日=月末または 15 日 ・ A カードを使用します。

- 印字段切換時刻=3:00 ・ タイムレコーダー上の 1 日の開始時刻です。この時刻を境に、印字する段を切り換えます。
- ・ 印字段切換時刻は就業者がいない時刻を選びます。午前 3:00 を超える勤務が頻繁にある場合、設定変更する必要があります。(19 ページ参照)

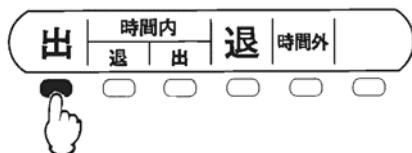
初期値一覧表

内容	設定値	初期値	参照ページ
締日	01~31	31 (月末締め)	18
空段位置	01~32 (アマノ A、B、C カード使用時は、設定の必要がありません。)	01 (1 段目)	20
印字段切換時刻	時 00~23	03 (午前 3:00)	19
印字フォーマット 	①タイムカードの表裏判定 1: する 2: しない	1 (する)	24
	②分印字表現 1: 60 進法 2: 100 進法 A 3: 100 進法 B 4: 10 進法	1 (60 進法)	25
	③曜日印字 0: 日付 1: 漢字 2: 英語 3: 曜日印字しない	1 (漢字を印字する)	26
サマータイム	サマータイム開始日 実行時刻: 0:00~9:00 サマータイム終了日		27

毎日の使いかた

出勤・退勤の選びかた

「出」「退」の印字位置は、欄ボタンを押して選びます。



- 欄ボタンが赤く点灯しているところに印字します。他の欄に印字したい場合は、印字したい欄ボタンを押します。

徹夜処理

設定された印字段切り時刻を超えた時刻に退勤打刻すると、次の日（翌日の段）に印字されます。印字段切り時刻以降に退勤打刻する場合は徹夜モードに切り換えてから打刻してください。

徹夜処理のしかた

1 徹夜モードに切り換えます

徹夜処理して打刻する欄ボタンを3秒以上押し続けます。徹夜処理して打刻する欄ボタン（出勤ボタンは除く）を押し続けると、1秒ごとにピッとブザー音がします。3秒以上押し続けるとピピッとブザー音がするので欄ボタンから手を離します。徹夜モード中はボタンが点滅します。

2 タイムカードを挿入します

徹夜処理した打刻は赤印字となり「分」にアンダーバーが付いて印字されます。打刻後は徹夜モードが解除されるので、次の個人が徹夜処理を行うときは、手順1から操作します。

日付	定時	時間内		定時	時間外	小計
	出	退	出	退		
21	※22:09			※ 5:10		
22						
23						
24						
25						

補足：手順1で手を離してから10秒経過してタイムカードを挿入しない、または他の欄ボタンを押すと徹夜モードは解除されます。

本体ケース貼付用に付属している徹夜ガイドシールをご活用ください。

タイムカードの入れかた

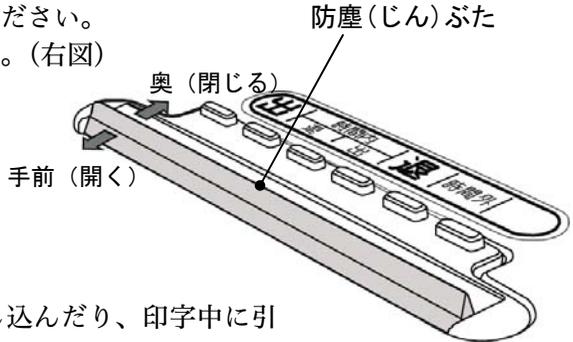
印字欄を確認してカードを軽く挿入します。

カードは自動的に引き込まれ、印字されます。

排出されたカードは、すみやかに取り除いてください。

そのままにしていると、ローラーの動作音がしますが、故障ではありません。

- 防塵(じん)ぶたを確認してください。
手前で開き、奥で閉まります。(右図)



- 自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。

- 《表裏判定機能付 (24 ページ参照)》表裏を誤って挿入すると、印字せずにカードを排出して「ピコピコピコ」とエラー音を鳴らします。ただし、上下を誤って挿入すると印字してしまいますのでご注意ください。



- 付せん紙やクリップをつけた状態でタイムカードを挿入すると紙詰まりなどの原因になります。

《時刻改ざん印字 (不正防止のため)》

- 時計を5分以上変更すると、変更後初めての打刻のみ「時の位」の印字が小文字になります。時刻を元に戻した場合は、5分以上の変更であっても通常どおり大文字で印字します。

通常	変更後
月 8:28	月 8:20

- サマータイムの設定操作をした日に、自動的に1時間進んだり戻ったりした場合も、最初の打刻のみ「時の位」が小文字になります。設定操作をした日でなければ、通常どおり大文字で印字します。

設定のしかた

上ぶたの開閉



警告



分解禁止

・本機の上ぶた以外は外さない。
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



改造禁止

・本機を改造しない。
火災、感電のおそれがあります。

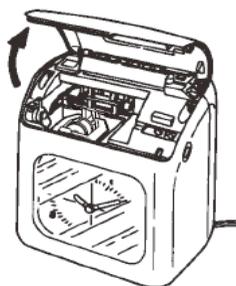
時刻合わせ・設定変更・リボンカセット交換等の時、上ぶたを開けます

ご注意 上ぶたの開閉は電源を入れた状態で行ってください。

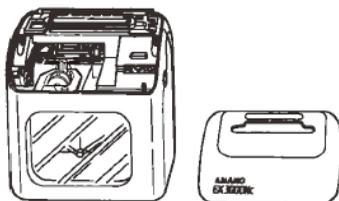
開け方



①本体両脇の◎（上ぶた開ボタン）を指で同時に押して開きます。

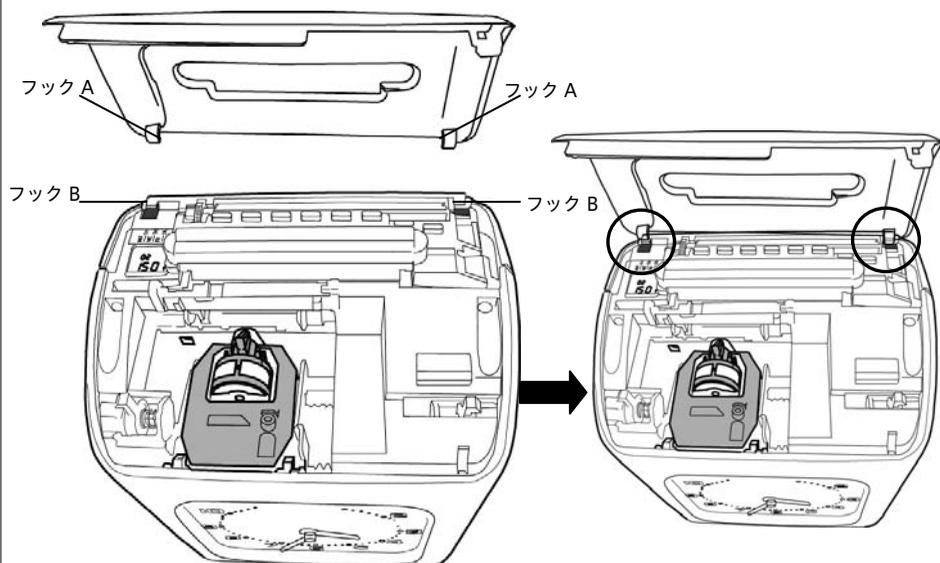


②上ぶたを開きます。



③上ぶたを取り外します。

閉め方



- ① 上ぶたのフック A を本体フック B に引っ掛けてから、上ぶたを手前に倒してはめ込みます。



- ② 上ぶたを手前に倒します。パチッというまで上ぶた前面を押してはめます。



- ③ 閉めると、時計の針が回り、一度 12:00 で止まり、その後現在時刻に合います。

ご注意

無理に閉めるとフックを破損する可能性があります。

閉まりにくい場合は、フックが正しく引っ掛かっているか確認してください。

最後に電源プラグをコンセントへ差し込みます。

締日の変更が必要な場合

締日とは、1か月単位の処理月の最終日を言います。締日が月末または15日（アマノAカード使用）の場合は、セットする必要がありません。

締日が20日または5日（アマノBカード使用）の場合は、20日（Bカード）の締日ボタンを、また締日が25日または10日（アマノCカード使用）の場合は、25日（Cカード）の締日ボタンを押すだけで締日を変更できます。

例：締日を25日に設定する（アマノCカード使用）

1 上ぶたを開け（16ページ参照）設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示



2 変更したい締日のボタンを押します

登録完了です。



押すと点灯し、25日締めに変更できます。

・ 其他ボタンは、月末（15日）、25日（10日）、20日（5日）以外に締日をセットする際に押します。

上ぶたを開けずに締日を変更することもできます。



- 欄ボタンの④ボタンと⑥ボタンを同時に5秒以上押します。ピッと音がして①ボタン②ボタン③ボタンが順番に点灯します。
- 変更する締日に該当するボタンを5秒以上押します。ピッと音がして設定されたボタンが4回点滅します。点滅後は設定変更前の欄ボタンが点灯します。
月末・15日締め（Aカード）：「出」ボタン
25日・10日締め（Cカード）：「時間内 退」ボタン
20日・5日締め（Bカード）：「時間内 出」ボタン

印字段切換時刻の変更が必要な場合

本機は印字するタイムカードの段が午前 3:00 に切り換わるように設定されています。

午前 3:00 から翌日の午前 2:59 までが同じ印字段に印字されます。

午前 3:00 を越えると印字段が切り換わります。
この時刻を越える勤務がある場合は、出勤と退勤
が異なった段に印字されます。

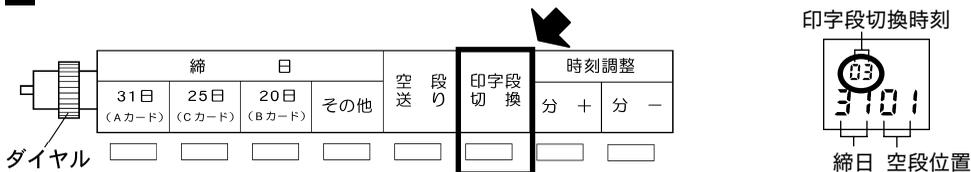
日付	定時	時間内		定時	時間外	小計
	出	退	出	退		
1	22:09					
2				* 5:10		

午前 3:00 を越える勤務が主な場合、印字段切換時刻を他の時刻（1日の中で勤務されている方がいない時刻）に変更します。24 時間営業などの場合は徹夜処理で打刻してください。（14 ページ「徹夜処理のしかた」をご覧ください。）

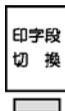
印字段切換時刻は、00 分固定の 1 時間単位で変更します。

例：印字段切換時刻を午前 6:00 に設定する

1 上ぶたを開け（16 ページ参照）設定見出しのダイヤルを回転させます



2 印字段切換ボタンを押します



ボタンを押すと、印字段切換時刻が変わります。
希望する印字段切換時刻になるまで
押してください。
押し続けると、早送りします。



印字段切換時刻を午前 6:00 にセットすると、
翌日の午前 5:59 までは同じ印字段になります。

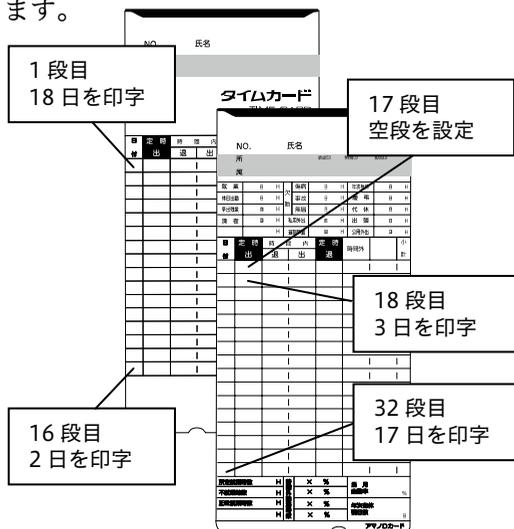
日付	定時	時間内		定時	時間外	小計
	出	退	出	退		
1	22:09			* 5:10		
2						

アマノDカードを使用する場合

アマノDカードを使用する場合には「締め日」の設定に加えて「空段」の設定が必要になります。タイムカード片面にそれぞれ16段、合計32段の印字段に対して、使用しない段を「空段」と呼びます。アマノA、B、Cカードで対応できない締日として17日締めを例に説明いたします。

- ・締め日（その他）…17日
（18ページ参照）
- ・空段…17段目
- ・曜日印字…日付
（26ページ参照）

タイムカードのオモテ面（青で印刷された面）の1段目に18日、16段目に2日を印字、ウラ面（赤で印刷された面）の最上段（17段目）を「空段」に設定し、18段目に3日、32段目に17日を印字します。



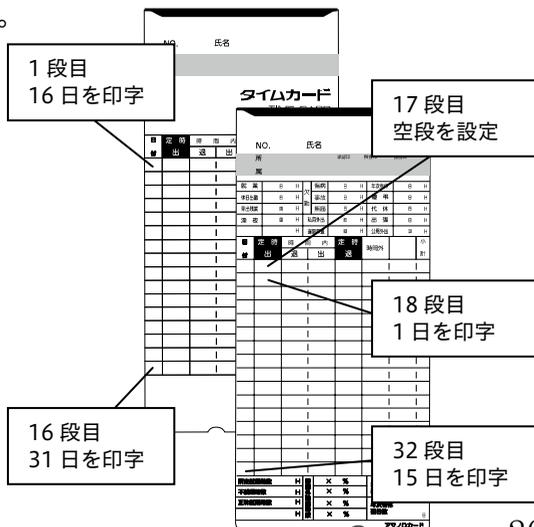
15日締めをDカードを使用してオモテ面から使用する場合

15日締めの場合には通常アマノAカードを使用します。

アマノAカードはオモテ面（青で印刷された面）を1日から、ウラ面（赤で印刷された面）を16日から使用します。

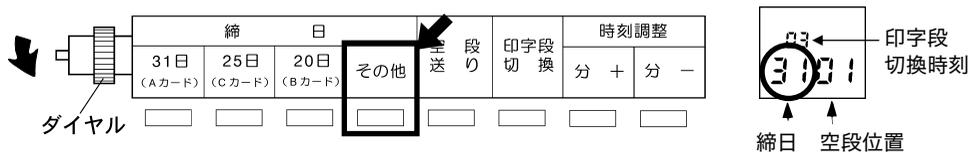
設定により15日締めにおいてもDカードを使用してオモテ面（青で印刷された面）から使用することができます。

- ・締め日（その他）…15日
（18ページ参照）
- ・空段…17段目
- ・曜日印字…日付
（26ページ参照）



例：締日を 15 日、空段を 17 段目に設定する

1 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます



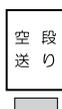
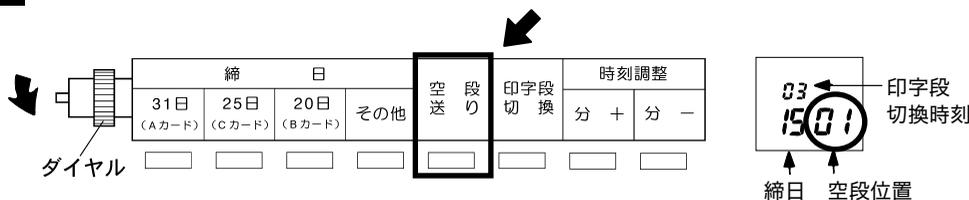
2 その他ボタンを押します



ボタンを押すと、締日が変わります。「15」になるまで押します。押し続けると早送りします。



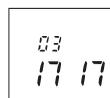
3 空段送りボタンを押します



ボタンを押すと、空段の位置が変わります。「17」になるまで押します。押し続けると早送りします。



14 ページ上の 17 日締め (空段 = 17 段) に設定した場合は右の表示になるように設定します。



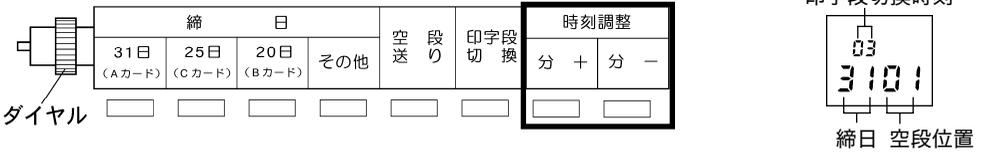
※Dカードはカード上への日付印刷がありません、日付印字の設定を推奨します。
(26 ページ参照)

時計を合わせたい場合

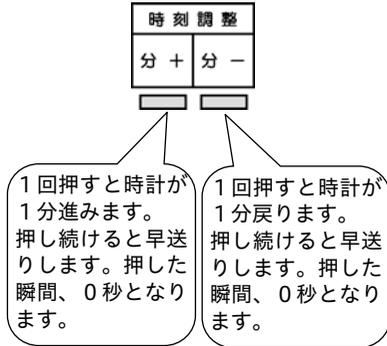
時計が遅れたり進んだときに、時計を合わせます。
時計の合わせかたには二通りあります。
通常は、「分の合わせかた」で時計を合わせます。
万一、日付や時間が違うときに「日付の合わせかた」で時計を合わせます。

《分の合わせかた（微調整）》

1 設定見出しのダイヤルを回転させます



2 分+ボタンと分-ボタンで時計を合わせます



分+ ボタン、分- ボタンを押すと、画面が時計表示に変わります。



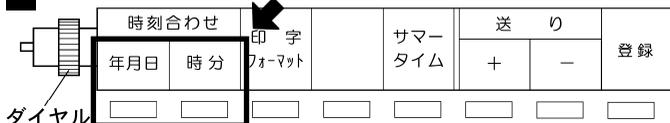
※数分の遅れや進みであれば分+、分- ボタンを押して時刻調整します。
数十分の遅れや進みであれば、「日付の合わせかた」の時分 ボタンを押して、時刻調整します。(23 ページ参照)

《日付・時刻の合わせかた》

年・月・日・時・分の修正をします。

例：2018年9月18日 18:00 を 2018年9月21日 8:30 にする

1 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます



年が点滅します。

2 西暦年を合わせます

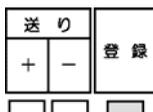


西暦年を確認します。
修正する必要がある場合は **登録** ボタンを押します。



登録ボタンを押すと
月が点滅します。

3 月を合わせます

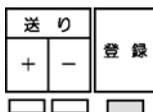


月を確認します。
修正する必要がある場合は **登録** ボタンを押します。

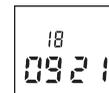


登録ボタンを押すと
日が点滅します。

4 日を合わせます

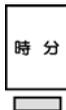


21 になるまで **+** ボタンを押します。



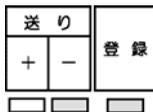
登録ボタンを押すと
時分が点滅します。

5 時分ボタンを押します



時が点滅します。

6 時を合わせます

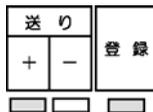


8 になるまで **-** ボタンを押します。



登録ボタンを押すと
分が点滅します。

7 分を合わせます



30 になるまで **+** ボタンを押します。

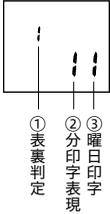


登録ボタンを押した瞬間に 0 秒スタート
します。

⇒ 年は、2099 年まで設定できます。

印字フォーマットの変更

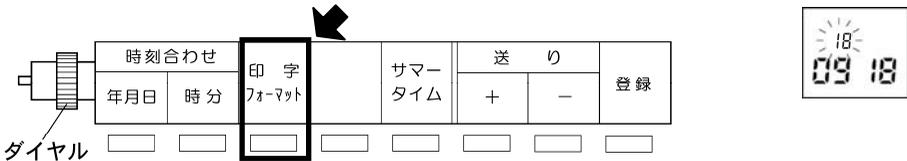
印字フォーマットとは、表裏判定の有無、時刻や曜日の印字形式を決めることです。



①表裏判定 1: する 2: しない	タイムカードの表裏判定“する/しない”はアマノA、B、Cカードをお使いの時は初期値のまま、アマノDカードご使用の際に設定する場合があります。
②分印字表現 1:60 進法 2:100 進法 A 3:100 進法 B 4:10 進法 (印字内容は 25 ページ)	
③曜日印字 0:日付 1:漢字 2:英語 3:印字しない	

例：表裏判定無し、分は 100 進法 B、曜日は日付印字に設定する

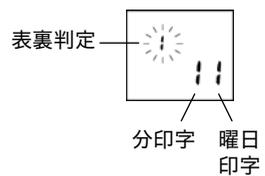
1 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます



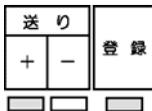
2 印字フォーマットボタンを押します



ボタンを押すと画面が変わります。



3 表裏判定を変更します



2 になるまで **+** ボタンを押します。
登録 ボタンを押すと分印字表現の項目が点滅します。



4

分印字表現を変更します

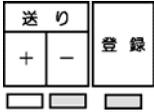


3になるまで \oplus ボタンを押します。
 登録 ボタンを押すと、曜日印字の
 項目が点滅します。



5

曜日印字を変更します



0になるまで \ominus ボタンを押します。
 登録 ボタンを押すと、登録完了と
 なります。



登録完了です。

分印字表現

60進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
100進法A	0	2	3	5	7	8	10	12	13	15	17	18	20	22	23
100進法B	0	0	0	5	5	5	10	10	10	15	15	15	20	20	20
10進法	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2

60進法	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
100進法A	25	27	28	30	32	33	35	37	38	40	42	43	45	47	48
100進法B	25	25	25	30	30	30	35	35	35	40	40	40	45	45	45
10進法	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4

60進法	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
100進法A	50	52	53	55	57	58	60	62	63	65	67	68	70	72	73
100進法B	50	50	50	55	55	55	60	60	60	65	65	65	70	70	70
10進法	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7

60進法	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
100進法A	75	77	78	80	82	83	85	87	88	90	92	93	95	97	98
100進法B	75	75	75	80	80	80	85	85	85	90	90	90	95	95	95
10進法	7	7	7	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9

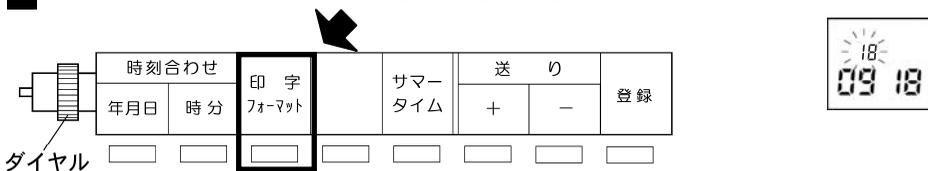
曜日の印字を変更したい場合

タイムカードに印字する曜日の種類を変更します。曜日印字以外の変更については、24 ページ「印字フォーマットの変更」をご覧ください。

曜日印字 0：日付 1：漢字 2：英語 3：曜日印字しない

例：曜日印字を日付印字に変更する

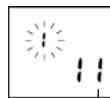
1 上ぶたを開け（16 ページ参照）設定見出しのダイヤルを回転させます



2 印字フォーマットボタンを押します



ボタンを押すと画面が変わります。



曜日印字

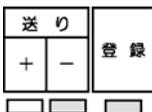
3 登録ボタンを 2 回押します



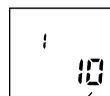
曜日印字の数値が点滅します。



4 曜日印字を変更します



0 になるまで ボタンを押します。
0 になりましたら ボタンを押します。



印字例

日付	定出	時間内	定退	時間外	小計
26	9:02				

日付の印字になりました。

0：日付
1：漢字
2：英語
3：印字しない

サマータイムの設定をしたい場合

日本国内で、サマータイムが導入されたときに登録してください。

サマータイムの開始/終了日と、実行時刻を設定します。

登録したサマータイム開始日の実行時刻になると、自動的に時計が1時間進みます。

登録したサマータイム終了日の実行時刻になると、自動的に時計が1時間戻ります。

サマータイム設定の自動更新

例えば、開始日=2019年4月7日(日曜日)、

終了日=2019年10月27日(日曜日)と設定した場合

本機は開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と認識します。

そのため、サマータイム終了日を過ぎると、翌年のサマータイム設定は、自動的に

開始日=2020年4月5日(日曜日)、

終了日=2020年10月25日(日曜日)と設定し直されます。

1度設定をすれば、その後は設定不要です。

例：開始日を2019年4月7日、実行時刻を午前5:00に設定する

1 上ぶたを開け(16ページ参照)設定見出しのダイヤルを回転させます

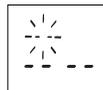
ディスプレイ表示



2 サマータイムボタンを押します



ボタンを押すと画面が変わります。



3 +または-ボタンを押します

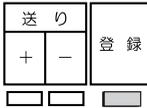


ボタンを押すと、開始年月日とその曜日表示します。



①月②火③水④木⑤金⑥土⑦日

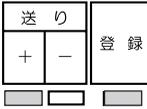
4 西暦年を合わせます



西暦年を確認します。修正する必要がなければ **登録** ボタンを押します。



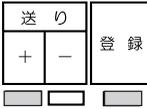
5 月を合わせます



4になるまで **+** ボタンを押し、**登録** ボタンを押します。



6 日を合わせます



7になるまで **+** ボタンを押し、**登録** ボタンを押します。



4月7日の曜日を表示

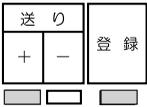
7 もう1度、登録ボタンを押します



登録ボタンを押すと、実行時刻を表示します。



8 実行時刻を設定します



5になるまで **+** ボタンを押し、**登録** ボタンを押します。
登録ボタンを押すと、点滅が点灯に変わります。

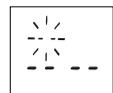


注) 実行時刻の設定は、「時」のみで、「分」は00分固定です。

9 もう1度、登録ボタンを押します



登録ボタンを押すと、終了年月日の設定に移ります。
開始年月日と同じように設定します。



■ 設定の確認をしたい場合

設定終了後、サマータイムボタンを押すごとに、開始年月日→実行時刻→終了年月日と表示が変わり、設定の確認ができます。

■ 設定の取消しをしたい場合

開始日と終了日を同じ年月日で設定すると、サマータイムは機能しません。

週間プログラムの設定をする前に

設定表の作成

設定する前に就業条件を確認し、設定表をつくりましょう。
設定表は 47 ページにあります。

例)

	始業	終業
月～金	8:30	17:00
土日	終日赤印字	

上図のような就業条件の場合、週間プログラムは次のように記入します。

■週間プログラム(※週間プログラムは25ステップまで可能です。)

No.	時分	曜日							R/B 二色	
		月	火	水	木	金	土	日		
1	8:31	▲	▲	▲	▲	▲			R	遅刻・早退を赤印字
2	17:00	▲	▲	▲	▲	▲			B	定時以降は黒印字
3	0:00						▲		R	土曜日と日曜日は 終日赤印字
4	23:59						▲	B		

日付	定時出	時間内		定時退	時間外	
		退	出			
1	▲ 8:25			▲ 17:22		土曜・日曜終日
2						
3	月 8:20			月 17:10		赤印字(早退)
4	火 9:07			火 17:05		
5	水 8:17			水 14:12		

赤印字(遅刻)

赤印字(早退)

印字サンプル

■二色印字は、開始時刻(R：赤印字開始)と終了時刻(B：黒印字開始)2つの設定が必要です。従って 8:31 に赤印字を開始する設定と 17:00 に黒印字に戻す設定をします。(30～32 ページを参照)

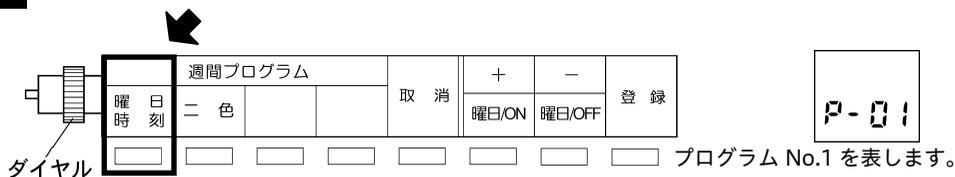
■土曜日・日曜日のみ終日赤印字の設定とする場合も、翌日には黒印字に戻るよう設定をする必要があります。(33～34 ページを参照)

曜日と開始時刻の設定

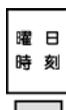
週間プログラムは曜日、開始時刻の設定を行ってから、お使いになる項目の設定を行います。

例：月～金曜日 8:31 と設定する

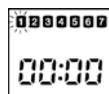
1 上ぶたを開け（16 ページ参照）設定見出しのダイヤルを回転させます



2 曜日・時刻ボタンを押します **①**月**②**火**③**水**④**木**⑤**金**⑥**土**⑦**日



全ての曜日を設定するときは登録ボタンを押して手順**4**へ進みます。



3 曜日を設定します



特定の曜日を設定するときには必要のない曜日のところで曜日/OFF ボタンを押します。



曜日/OFF ボタンを押すと、点滅している曜日が設定され点滅が移動します。
曜日/OFF ボタンを押すと設定されずに点滅が移動します。
登録ボタンを押すと「時」が点滅します。

4 時間を設定します



8 になるまで **+** ボタンを押します。
登録ボタンを押すと「分」が点滅します。



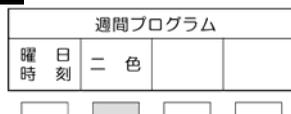
5 分を設定します



31 になるまで **+** ボタンを押します。
登録ボタンを押すと「分」の点滅が点灯に変わります。



6 各項目設定に移ります



設定を間違えたときは、**5** の画面の状態にしてから、曜日/時刻ボタンを押して設定をやり直します。または取消ボタンを2秒間押し**2**からやり直します。



週間プログラムの設定

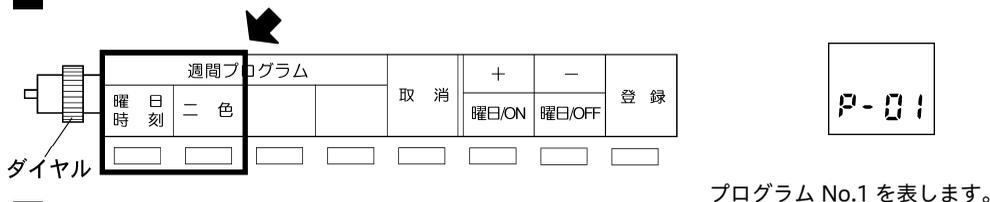
赤印字を設定したい場合

定時出勤、退勤と就業時間内での遅刻・早退とを区別するために印字色を切り換えることができます。

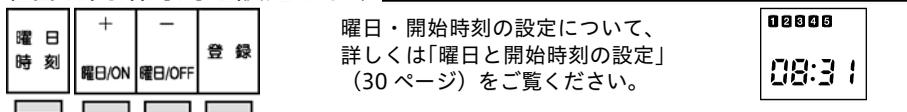
始めに目的の曜日を設定し、切り換える時刻を登録してから行います。

例：月～金曜日 8:31 から赤印字にし、17:00 から黒印字に戻す

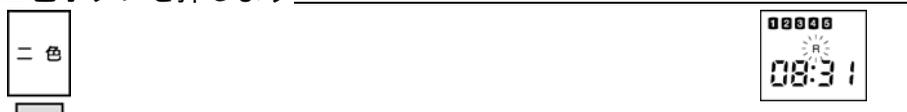
1 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます



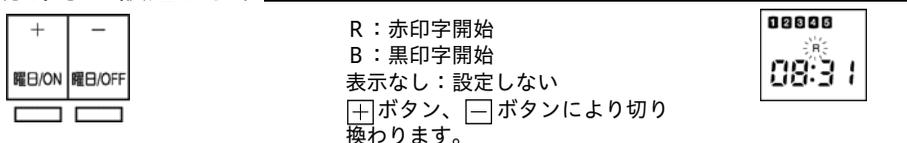
2 曜日と開始時刻を設定します



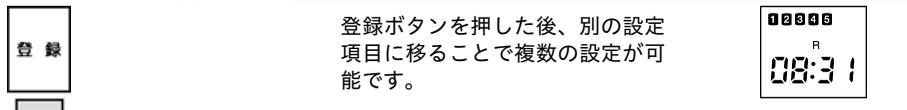
3 二色ボタンを押します



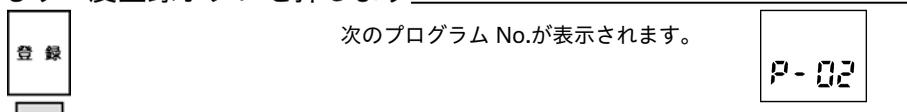
4 赤印字に設定します



5 登録ボタンを押します



6 もう一度登録ボタンを押します



7 プログラム No.2 の設定をします



P-02 に月～金曜日 17:00、
B：黒印字を設定します。



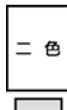
8 曜日と開始時刻を設定します



曜日・開始時刻の設定について、
詳しくは「曜日と開始時刻の設定」
(30 ページ) をご覧ください。



9 二色ボタンを押します



10 黒印字に設定します



R：赤印字開始
B：黒印字開始
表示なし：設定しない
[+] ボタン、[-] ボタンにより切り
換わります。



11 登録ボタンを押します



登録ボタンを押した後、別の設定
項目に移ることで複数の設定が可
能です。



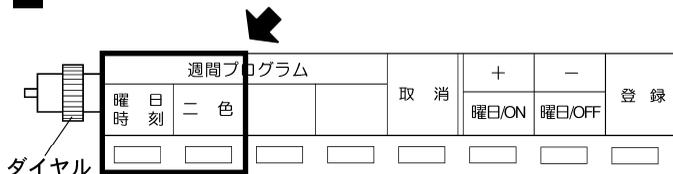
注) 同時刻に赤と黒が設定された場合、赤印字が優先となります。

■引き続き設定を行う場合は、曜日/時刻ボタンを押して、手順2～6の操作を行います。

例：土曜と日曜を終日赤印字にする

(土曜日 午前 0:00 から赤印字にし、日曜日 23:59 から黒印字に戻す)
設定はプログラム No.3 と No.4 に入れる

1 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます

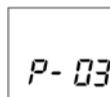


プログラム No.1 を表します。

2 P-03 を表示します



P-01 表示のまま
[+] ボタン、[-] ボタンを押すと
プログラム No.の表示を
変えることができます。



3 曜日と開始時刻を設定します

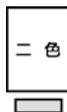


P-03 に土 0:00
R: 赤印字を設定します

詳しくは「曜日と開始時刻の設定」
(30 ページ) をご覧ください。



4 二色ボタンを押します



5 赤印字に設定します



R: 赤印字開始
B: 黒印字開始
表示なし: 設定しない
[+] ボタン、[-] ボタンにより切り
換わります。



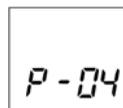
6 登録ボタンを押します



登録ボタンを押した後、別の設定
項目に移ることで複数の設定が可
能です。

7 もう一度登録ボタンを押します

次のプログラム No.が表示されます。



8 プログラム No.4 の設定をします



P-04 に日曜日 23:59、
B：黒印字を設定します。



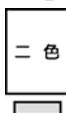
9 曜日と開始時刻を設定します



曜日・開始時刻の設定について、
詳しくは「曜日と開始時刻の設定」
(30 ページ) をご覧ください。



10 二色ボタンを押します



11 黒印字に設定します



R：赤印字開始
B：黒印字開始
表示なし：設定しない
[+]ボタン、[-]ボタンにより切り
換わります。



12 登録ボタンを押します



登録ボタンを押した後、別の設定
項目に移ることで複数の設定が可
能です。

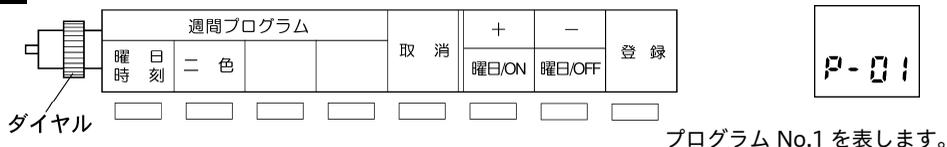


設定内容のコピーをしたい場合

開始時刻や曜日が設定してある状態で、登録ボタンを2秒以上押し続けると、コピーできます。次のプログラムが設定済の場合には未設定の最小プログラムNo.のところにコピーします。

例：月～金曜日の9:01に「赤印字」の設定をコピーして、18:00に「黒印字」を設定する

1 上ぶたを開け（16ページ参照）設定見出しのダイヤルを回転させます



2 コピーしたいプログラムを表示させます



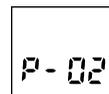
[+] ボタンを押すとプログラム No.が次に進み、[-] ボタンを押すと一つ前に戻ります。登録ボタンを押すと設定内容が表示されます。



3 登録ボタンを2秒間押し続けます



空いているプログラム No.を表示します。
(例 No.2)



4 登録ボタンを離します



曜日と開始時刻がコピーされます。



5 開始時刻を変更します



6 黒印字を設定し、登録ボタンを押します



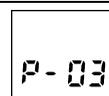
34 ページ 10 を参照。



7 もう一度登録ボタンを押します



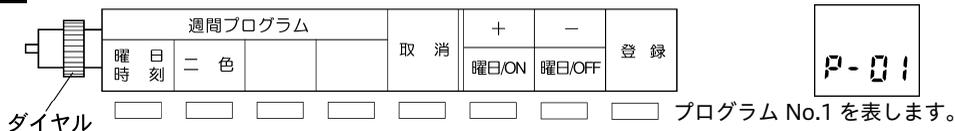
次のプログラム No.が表示されますと、登録完了です。



設定の変更をしたい場合

例：プログラム No.1、月～金曜日の赤印字開始時刻を 8:31 から 9:01 に変更する

1 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます



2 変更したいプログラム No.を表示します



+ ボタンを押すとプログラム No.が次に進み、**-** ボタンを押すと一つ前に戻ります。



プログラム No.1 を表します。

3 登録ボタンを押します



4 変更したい項目のボタンを押します



曜日を変更するの必要がなければ「登録」ボタンを押します。時刻の変更操作から行うことができるようになります。



5 時刻を変更し、登録ボタンを押します



6 もう一度登録ボタンを押します



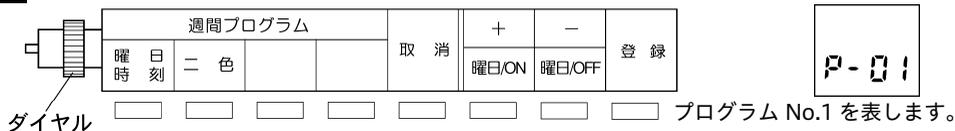
次のプログラム No.が表示されます。



設定の削除をしたい場合

例：プログラム No.1 を削除する

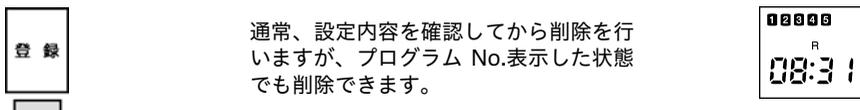
- 1** 上ぶたを開け (16 ページ参照) 設定見出しのダイヤルを回転させます



- 2** 削除したいプログラム No.を表示します _____

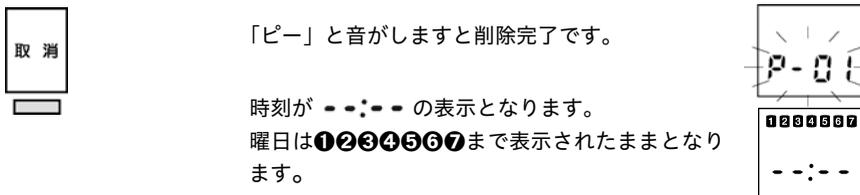


- 3** 登録ボタンを押して、内容を表示します _____



通常、設定内容を確認してから削除を行います。プログラム No.表示した状態でも削除できます。

- 4** 取消ボタンを 2 秒間押し続けます _____



「ピー」と音がしますと削除完了です。

時刻が --:-- の表示となります。

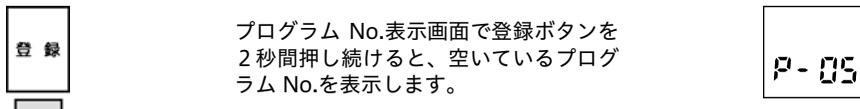
曜日は①②③④⑤⑥⑦まで表示されたままとなります。

■再度、取消ボタンを押すと、プログラム No.表示に戻ります。

設定の追加をしたい場合

例：空いているプログラム (プログラム No.5) に設定を追加する

- 1** 登録ボタンを 2 秒間押し続けます _____



- 2** 設定を追加します (30~37 ページ参照) _____



こんなときには

故障かなと思ったら

⚠ 警告



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



電源コードを傷つけたり、破損しない。
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

現象	原因と処理
カードが入らない	・ 停電中 ⇒ 復電するまで待つ
	・ 電源コードが抜けている ⇒ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・ カードを引き抜いたり無理に押し込んだりした ⇒ 一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
“ピコピコピコッ”と音がして印字しない “ピーッ”と音がして印字しない	・ カード面を逆に挿入した ⇒ カードの表裏を反対にして挿入する
	・ カード挿入の失敗 ⇒ 軽く押しぎみに挿入する
時計が進まない	・ 停電中 ⇒ 復電するまで待つ
	・ 電源コードが抜けている ⇒ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・ 時計部の動作不良 ⇒ 一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
時計が遅れている (進んでいる)	・ 時刻合わせの間違い ⇒ 「分の合わせ方」P.22 参照
	・ 長時間の停電 ⇒ 「日付・時刻の合わせ方」P.23 参照
	・ 時計部の動作不良 ⇒ 一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
曜日・日付が違う	・ 日付あわせの間違い ⇒ 「日付・時刻の合わせ方」P.23 参照
印字がうすい (印字が欠ける)	・ リボンカセットの寿命 ⇒ 「リボンカセットの交換」P.40 参照
	・ リボンカセットの装着ミス ⇒ 正しくセットしなおす
印字段が違う	・ 締日などの設定間違い ⇒ 締日、空段、印字段切替時刻、日付、カードタイプの設定を確認する
印字欄が違う	・ 印字欄の選択ミス ⇒ 正しい印字欄を選択する
印字が流れる	・ 利用方法の誤り ⇒ 印字動作中カードを引き抜いたり、押し込んだりしない

以上を点検しても正常にご使用できない場合は、分解・注油などを行なわず弊社最寄支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。

エラーコード一覧とメッセージ

⚠ 警告



ぬれ手禁止

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



禁止

・電源コードを傷つけたり、破損しない。
また、重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意



プラグを抜く

・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

エラー音が生じ、出退ボタンのランプが消えた場合は、本体内部で異常が発生しています。電源コードを一度抜き、10秒程してから再度コンセントへ差し込んでください。回復しない場合は上ぶたを開けエラー表示を確認してください。エラー表示は上ぶたを開けてから4秒間表示します。4秒以降は設定モードに入ります。

エラー番号	エラー内容	処置
E-01	時計ホームポジションセンサーエラー	弊社支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。
E-02	欄ホームポジションセンサーエラー	
E-03	印字タイミングパルスセンサーエラー	

※E-01は打刻できます。E-02・E-03は打刻できません。

※本機はアマノ標準A、B、Cカード（またはDカード）以外をお使いのときは、正常な動作の保証をいたしません。

アマノ製標準A、B、Cカード（またはDカード）をお使いください。（9ページ参照）

印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)



警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



注意



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意



高温注意

高温注意シールのところは触れない。
やけどの原因となることがあります。

タイムカードの印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

お願い

上ぶたを開けてリボンカセット交換等を行うときは、机などの大きな金属に触れるなど除電して(静電気を取除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

ご注意

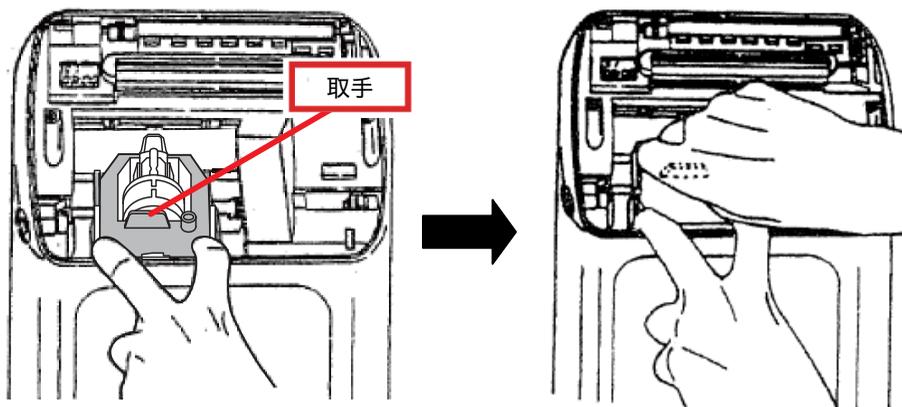
誤って欄ボタン(設定ボタン)に触れると設定が変わる恐れがあります。欄ボタンに触れないようご注意ください。

1 上ぶたを開けます

16 ページを参照して上ぶたを開けます。

ドットプリンターが中央に寄りましたら、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 リボンカセットを取り出します



図のようにリボンカセット押え(41 ページ図 B 参照)を手前に引いたまま、リボンカセットの取手をもって引き抜くように取り出します。



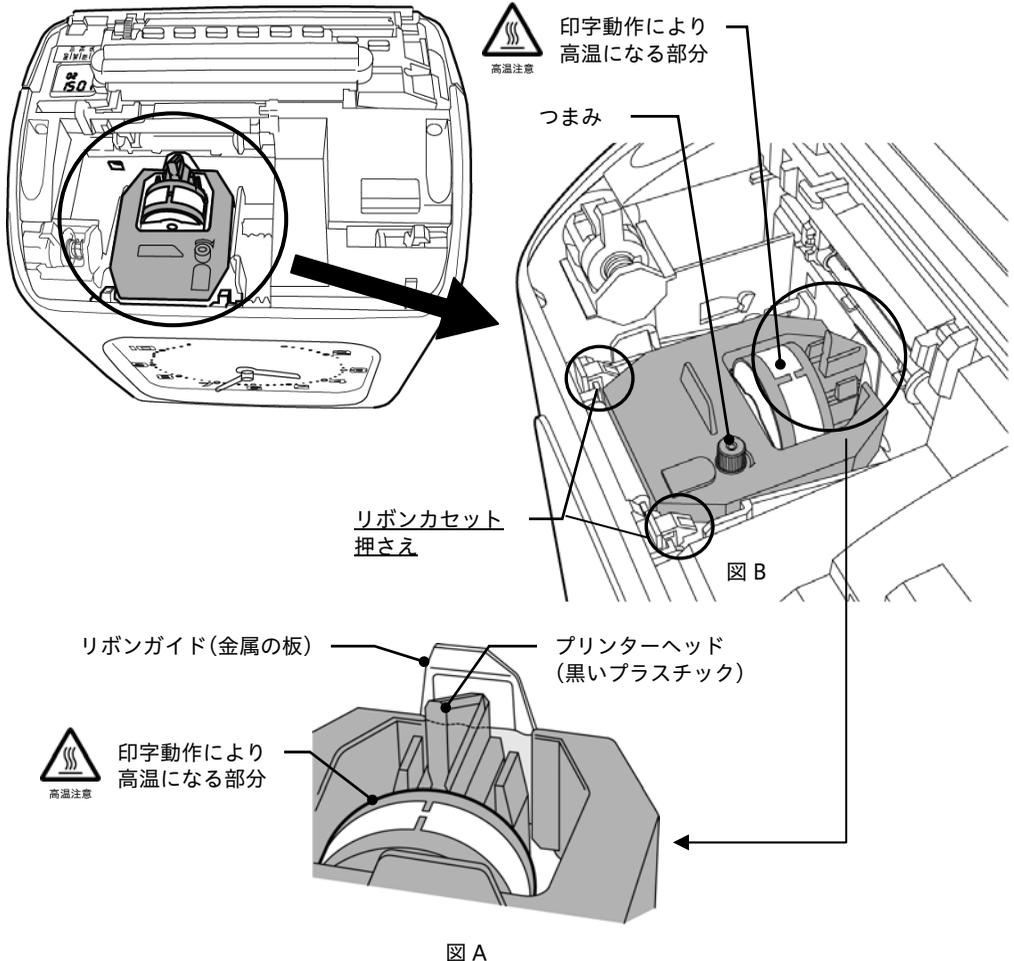
注意



高温注意

高温注意シールのところは触れない。
やけどの原因となることがあります。

3 新しいリボンカセット (品名: CE 315250) をセットします



リボンカセットを、リボンガイドとプリンターヘッドの間に正しく入れます。(図 A)
パチッ*というまで押してセットし、つまみを時計方向に回してたるみをとります。(図 B)

4 上ぶたを閉めます

16 ページを参照して上ぶたを閉じます。

よくあるご質問 Q & A

Q1. 違う日付に印字されてしまいます。

A1. 締日の設定が間違っていないか確認してください。(18 ページ参照) 工場出荷時には締日の設定が 31 日 (月末) に設定されています。

Q2. 前日に印字されてしまいます。

A2. 印字段切替時刻の設定が間違っていないか確認してください。(19 ページ参照) 工場出荷時には印字段切替時刻の設定が午前 3:00 に設定されています。

Q3. 曜日がずれてしまいます。

A3. 年月日が正しく設定されているか、確認してください。年は和暦ではなく西暦年下 2 桁で設定していただく必要があります。(23 ページ参照)

Q4. リボンカセットを交換した後、印字されなくなりました。

A4. リボンカセットの取り付け (装着) ミスの可能性が考えられます。正しくカセットを取り付けてください。(40~41 ページ参照) 特にリボンの位置にはご注意ください。

Q5. リボンカセットを交換した後、赤く印字されるようになってしまいました。

A5. リボンがねじれてしまい、上下が逆になっている可能性が考えられます。リボンの上が黒、下が赤になっているか確認してください。

Q6. 印字が小さくなりました。

A6. 時計を 5 分以上変更すると、変更後初めての打刻のみ「時の位」が小文字になります。

Q7. タイムカードに集計することはできますか？

A7. EX3000Nc は日々の集計や月の集計はできません。

Q8. 出勤時刻と退勤時刻が異なった段に印字されてしまいます。

A8. 印字段切換時刻の変更が必要です。

工場出荷時には印字段切換時刻が午前 3:00 に段が切り換わるように設定されています。

午前 3:00 を超える勤務が主な場合は、印字段切換時刻を 1 日の中で勤務されている方がいない時刻(一番遅く退勤打刻される方と一番早く出勤打刻されている方の間)に設定してください。(19 ページ参照)

Q9. 24 時間体制の勤務ですが、出勤時刻と退勤時刻を同じ段に印字できますか。

A9. 印字段切換時刻以降に退勤打刻する場合は徹夜モードに切り換えてから打刻することで、出勤時刻と同じ段に印字ができます。(14 ページ参照)

Q10. 日付の切り換わりと同時に印字される位置も切り換えたいのですが。

A10. 印字段切換時刻は午前 0:00 に設定することで、日付の切り換わりと同時に印字段を切り換える設定になります。

Q11. タイムカードに印字しないで排出されてしまいます。

A11. タイムカードの面を逆に挿入しています。タイムカードの表裏を反対にして、挿入してください。

Q12. 外出のときの操作を教えてください。

A12. 外出時に「時間内 退」ボタンを押して、赤く点灯させてから、タイムカードを挿入します。

次に欄ボタンを押すまで、タイムカードの印字欄(印字位置)は変わりません。

戻り打刻の時には「時間内 出」ボタンを押して打刻します。

付録

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



スプレー禁止

可燃性のスプレー（ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど）を噴霧しない。
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しない。
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

注意



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

日常のお手入れ

■ 普段のお手入れ

ケースの汚れは乾いた柔らかい布（綿・ネルなど）で軽く拭き取ってください。
※硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますので
ご注意ください。特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。
（表面は特殊加工されていますので、ご注意ください）

■ 汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿・ネルなど）
を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。
※本体および電源コード類に有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使
用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

■ 電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れください。
（トラッキング火災：差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラグ
との間にスパークが発生し、出火するという火災です）
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で
拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。

製品仕様

使用電源：AC100V±10% (50/60Hz)

消費電力：待機時2W 定格10W

環境条件：温度 $-10^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$
湿度 10% RH～90% RH (結露のないこと)

外形寸法：幅190mm×高さ224mm×奥行127mm

質量(重量)：2.3kg

時計方式：水晶発振方式週差±3秒以内 ($25^{\circ}\text{C}\pm 5^{\circ}\text{C}$)

メモリー保持機能：リチウム電池にて工場出荷時より停電累計で3年間(内部時計以外の機能はすべて停止します。)停電時の打刻はできません。

消耗品・別売品

JAN : JAN コードを表します

タイムカード (1箱 100枚)

Aカード



JAN : 4946267100014
月末/15日締め用カード

Bカード



JAN : 4946267100021
20日/5日締め用カード

Cカード



JAN : 4946267100038
25日/10日締め用カード

リボンカセット



品名 : CE-315250
JAN : 4946267120098
二色 : 赤・黒

カードラック (サイズの単位は mm です。)



品名 : 12S
JAN : 4946267110280
12枚差し (PS樹脂製)
幅101×高さ491×奥行32(mm)
(再生材 20%以上使用)



品名 : 20S
JAN : 4946267110297
20枚差し (PS樹脂製)
幅101×高さ683×奥行32(mm)
(再生材 20%以上使用)



品名 : 50S
JAN : 4946267110853
50枚差し (PS樹脂製)
幅206×高さ806×奥行32(mm)
(再生材 20%以上使用)

◆デザイン・仕様は予告なく変更することがございます。

設定表

設定項目	初期値	設定値
締日 01~31日	31	
空段位置 01~32段	01	
印字段切換時刻 00~23時	03 (3:00)	
印字フォーマット		
表裏判定 1:する 2:しない	1	
分印字表現 1:60進法 2:100進法A 3:100進法B 4:10進法	1	
曜日印字 0:日付 1:漢字 2:英語 3:印字しない	1	
サマータイム		
開始日 1月1日~12月31日		
実行時刻 00:00~9:00		
終了日 1月1日~12月31日		

週間プログラム設定項目									
No.	時 分	曜 日							R/B ※二色
		月	火	水	木	金	土	日	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									

※二色 R(Red) : 赤 / B(Black) : 黒

製品保証とアフターサービス

本機の無償製品保証サービスは、製品保証登録をして頂くことではじめて有効になります。ご購入後、インターネットの弊社の製品保証登録サイトからご購入機器の情報をご登録ください。

製品保証サービスについて

■保証期間について

保証期間の間に故障した場合には、保証登録の上、お買い上げの販売店もしくは弊社メンテナンスセンター・支店・営業所にご購入日が確認できる書類（レシートなど）をご用意いただき、修理をご依頼ください。保証期間は、購入日より3年間です。

■保証期間内でも次のような場合は有償になります。

- (1) 保証登録のない場合。あるいは、保証登録の所定事項の未記入や字句を書き換えられたもの及びご購入日が確認できる書類（レシートなど）のないとき。
- (2) 誤った使いかたまたは、改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (3) 火災・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
- (4) 異常電圧、害虫（ゴキブリなど）による故障及び損傷。
- (5) 一度取り付けた後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (6) 出張しておこなう取扱説明、設定、時計調整、締日の変更や機械故障以外の調整あるいは、リボンカセットなど消耗品の交換、修理、点検、お引取りが発生した場合。
- (7) アマノ製品以外の消耗品（タイムカード・リボンカセットなど）の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
- (8) 製品に貼付しているラベルまたはプレートを毀損、または剥がすなど製品の商品名または製造番号を判別不能または判別困難としているとき。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

※本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。

日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。



本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

<https://www.amano.co.jp/>

■タイムレコーダー サポート&サービス

取扱説明書、お問い合わせ、チャットボットのご利用はこちらからご確認ください。

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

